

オルタナティブ教育 – San Joaquin High School (サンホアキン高校)

SARC (学校説明責任報告書)

2019-2020 学年度データを使用して報告

2020-2021 年に公開

毎年 2 月 1 日までに、カリフォルニア州のすべての学校は州法により SARC (学校説明責任通知書) の発行を義務付けられています。SARC (学校説明責任通知書) には、カリフォルニア州の各公立学校の状態と成績に関する情報が記載されています。LCFF (ローカル・コントロール・ファンディング・フォーミュラ) の下で、すべての LEA (教育機関) は、LCAP (ローカルコントロール&説明責任計画) を作成する必要があります。これには、州と地区の優先順位に対処するための特定事項に取り組みながら、学校ごとに設定された全学生の年間目標をどのように達成するかが記載されています。また、LCAP (ローカルコントロール&説明責任計画) で報告されるデータは、SARC (学校説明責任通知書) のデータと一致する必要があります。

- SARC (学校説明責任通知書) の要件と前年度の報告書を閲覧したい場合は、CDE (カリフォルニア州教育庁) の SARC (学校説明責任通知書) Web ページ (<https://www.cde.ca.gov/ta/ac/sa/>) を参照してください。
- LCFF (ローカル・コントロール・ファンディング・フォーミュラ) または LCAP (ローカルコントロール&説明責任計画) についての詳細情報については、CDE (カリフォルニア州教育庁) の LCFF (ローカル・コントロール・ファンディング・フォーミュラ) の Web ページ、<https://www.cde.ca.gov/fg/aa/lc/> を参照してください
- 両親/保護者およびコミュニティのメンバーが学校についての追加情報を得たい場合は、学校長または地区の教育局にお問い合わせいただく必要があります。

DataQuest (データクエスト)

DataQuest (データクエスト) は、<https://dq.cde.ca.gov/dataquest/> の CDE (カリフォルニア州教育庁) DataQuest (データクエスト) web ページにあるオンラインデータツールで、この学校についての詳細情報と地区および群の学校との比較情報を提供します。特に、DataQuest (データクエスト) は動的なシステムであり、説明責任 (例: 試験データ、入学者、高校卒業者、中退、コースへの入学者、人員配置、英語学習者に関するデータ) の報告を提供します。

California School Dashboard (カリフォルニア州スクールダッシュボード)

California School Dashboard (カリフォルニア州スクールダッシュボード) <https://www.caschooldashboard.org/> には、カリフォルニア州の新しい説明責任と継続的な改善システムが示され、LEA (地域教育局) と学校がカリフォルニア州の多様な学生人口によるニーズをどのように満たしているかについての情報を提供します。Dashboard (ダッシュボード) には、長所、課題、改善が必要な分野の特定に役立つ州および地方の一連の対策に関する LEA (地域教育局)、学校、学生グループのパフォーマンスを示す報告書が含まれます。

本校について

学校の連絡先情報（2020-2021 学年度）

エンティティ	連絡先情報
学校名	オルタナティブ教育 – San Joaquin High School（サンホアキン高校）
ストリート名	3387 Barranca Pkwy.
市、州、Zip	Irvine, CA 92606
電話番号	(949) 936-7400
学校長	Rebecca Roberts & Kris Linville
E メールアドレス	RebeccaRoberts@iusd.org; krislinville@iusd.org
Web サイト	http://iusd.org/sjhs/
CDS（カウンティ-ディストリク	30-73650-3030467

地区の連絡先情報（2020-2021 学年度）

エンティティ	連絡先情報
地区名	Irvine Unified School District（アーバイン統一学区）
電話番号	(949) 936-5000
教育長	Terry Walker
E メールアドレス	TerryWalker@iusd.org
Web サイト	www.iusd.org

学校説明とミッションステートメント（2020-2021 学年度）

学区全体から生徒が集まる San Joaquin Schools（サンホアキンスクール）IUSD Virtual Academy（アーバイン統一学区バーチャルアカデミー）は、生徒が学び成長するための素晴らしい場所です。 San Joaquin Schools（サンホアキンスクール）IUSD Virtual Academy（アーバイン統一学区バーチャルアカデミー）は、TK（トランジショナル・キンダーガーデン）-12 グレードの 100%オンラインスクールです。私たちは、学生の社会的/感情的なウェルビーイングを支援することの重要性を認識しています。学生は高く評価され、認められ、本校の最も重要な部分を構成しているということ、彼ら自身に知っていただきたいと思っています。当校コミュニティは、積極的な学業と社会的成長を重視し、厳格で包括的な教育を信じ、多様性を評価し、子供たちの最善の利益を探求しています。Irvine Unified School District（アーバイン統一学区）で、私たちは思い描ける限りの最高の教育体験を提供することを約束します。学生の学習のエビデンスに焦点を当てることによって、その学習と到達度への影響を評価します。IUSD（アーバイン統一学区）の教育者は、学習効果を判断する際、バランスの取れた評価システムの一環として各種評価や反復測定の重要性を認識しています。

これは学生にとって大きな可能性と成功のチャンスとなります。IUSD Virtual Academy（アーバイン統一学区バーチャルアカデミー）では、私たちが大きな責任を負っていることを認識しています。本校の教育プラットフォームは、この地区の基準とそれぞれの学生の固有のニーズを満たす協力的な環境において、学生が厳格なカリキュラムにアクセスできるように設計されています。IUSD Virtual Academy（アーバイン統一学区バーチャルアカデミー）は学習責任を積極的に共有し、学業成功における保護者とスタッフの役割の重要性を認識しています。

本校のビジョンは、生涯学習者としての学生にパワーを与え、グローバルな世界に参加し貢献するために必要とされる知識とスキルを習得し、実際に使用し、価値を実感できるようサポートすることです。

私たちの使命：私たちの使命は、学業および個人的な成長を通じて、それぞれの学生がその可能性を実現できるように誠心誠意支援することです

学年別の入学者数（2019-2020 学年度）

学年レベル	学生数
7年生	7
8年生	8
9年生	3
10年生	1
11年生	1
12年生	6
総入学者数	26

学生グループ別入学者数（2019-2020 学年度）

学生グループ	総入学者に対する割合
アジア系	46.2
ヒスパニック系またはラテン系	7.7
ホワイト	38.5
複数人種	7.7
社会経済的弱者	11.5
英語学習者	7.7
障がいのある学生	7.7
ホームレス	

A. 学習の条件

州の優先順位：基本

SARC（学校説明責任通知書）は、州の優先順位についての情報を以下のように提供します：基本（優先順位 1）：

- 教えられる生徒に教師が適切に割り当てられ、担当教科分野の資格を完全に保持している程度
- 生徒が、基準に沿った教材にアクセスできる程度、そして
- 学校施設が良好に修理されて維持されている程度

教師の資格情報

教師	学校 2018-19	学校 2019-20	学校 2020-21	地区 2020-21
完全な資格を保持	8.00	21.00	497.00	1,663.99
完全な資格を非保持	0	0	0	0
専門外での教育能力（完全な資格保持者）	0.20	1.00	21.62	80.58

教師の割り当てミスと教職の求人

指標	2018-19	2019-20	2020-21
英語学習者への教師の割り当てミス	0	0	0
教師の割り当てミス総数*	0	0	0
教職の求人	0	0	0

注意：「割り当てミス」とは、学年レベル、教科分野、学生グループなどを教えるための法的資格を持たない教師によって充当されたポジションの数を指します。

*教師の割り当てミスの合計には、英語学習者の教師の割り当てミスの数が含まれます。

教科書およびその他の教材の品質、通貨、利用可能性（2020-2021 学年度）

データが収集された年と月：2020年10月

件名	教科書およびその他の教材/採用年度	最近の採用から	自分に割り当てられた教材を持たない学生の割合
文学/言語科目	2020年10月に教科書ソフトウェアによって決定されたように、全学生に個別の教科書または教材が提供されます。購入されたすべての主要な教科書と教材は、理事会で承認されています。	はい	0%
数学	2020年10月に教科書ソフトウェアによって決定されたように、全学生に個別の教科書または教材が提供されます。購入されたすべての主要な教科書と教材は、理事会で承認されています。	はい	0%
理科	2020年10月に教科書ソフトウェアによって決定されたように、全学生に個別の教科書または教材が提供されます。購入されたすべての主要な教科書と教材は、理事会で承認されています。	はい	0%
歴史-社会科学	2020年10月に教科書ソフトウェアによって決定されたように、全学生に個別の教科書または教材が提供されます。購入されたすべての主要な教科書と教材は、理事会で承認されています。	はい	0%
外国語	すべての学生には、個別の教科書または教材が提供されます。購入されたすべての主要な教科書と教材は、理事会で承認されています。	はい	0%
保健体育	2020年10月に教科書ソフトウェアによって決定されたように、全学生に個別の教科書または教材が提供されます。購入されたすべての主要な教科書と教材は、理事会で承認されています。	はい	0%

件名	教科書およびその他の教材/採用年度	最近の採用から	自分に割り当てられた教材を持たない学生の割合
視覚芸術および舞台芸術	2020年10月に教科書ソフトウェアによって決定されたように、全学生に個別の教科書または教材が提供されます。購入されたすべての主要な教科書と教材は、理事会で承認されています。	はい	0%
理科室設備 (9-12年生)	全学生が、9-12年生の課程のために適切な理科室設備にアクセスできます。	はい	0%

注意：適用外の値のセルにデータは不要です。

学校設備の状態と改善計画

20-21 学年度の間、San Joaquin Schools (サンホアキンスクール) IUSD Virtual Academy (アーバイン統一学区バーチャルアカデミー) は、100%オンラインです。

生徒に安全な学校環境を確保するための重点目標は、災害時の捜索や救助技術、CPR/応急処置に関するスタッフの再認証、学校の安全性評価に関連する業務内活動、暴力評価、最新法規の確認、ギャングおよびギャングの特定、および安全な学校環境を確保するためのすべての利害関係者による積極的な関与を含みます。これとは別に、毎年地区の安全検査を行っています。

地区管理者と学校教職員との間の緊密な協力関係、保護者や地域のリーダーの積極的な参加に、この活動の継続的な成功がかかっています。San Joaquin (サンホアキン) の学生とスタッフは、アーバイン警察署の学校資源担当官および調査員と非常に良好な協力関係を築いています。学生は、このような協力関係と San Joaquin (サンホアキン) の安全を守る取り組みに誇りを感じています。

学校施設の良好な修理状況

直近で収集された FIT (施設検査ツール) データ (または同等のデータ) を使用して、以下を提供します：

- リストに挙げられたシステムの修復ステータスの判断
- 修理を正しく確実にするために必要なメンテナンスの説明
- データ収集日
- 検査された各システムの比率
- 総合評価

直近の FIT (施設検査ツール) 報告日：2020年12月8日

検査したシステム	評価	必要な修理と実行/計画されたアクション
システム：ガス漏れ、機械/空調システム、下水道	良い	
内部：内部表面	良い	OFC：4.廊下の天井のタイルの水シミ RM 10: 4.天井のタイルの水シミ RM 13: 4.天井のタイルの水シミ RM 4: 4.天井のタイルの水シミ
清潔度: 全般的な清潔度、害虫/害獣の蔓延	良い	

検査したシステム	評価	必要な修理と実行/計画されたアクション
電気系統：電気系統	良い	
トイレ/噴水：トイレ、洗面台/噴水	良い	
安全性：火災安全性、危険物	良い	
構造：構造的破損、屋根	良い	
外部：遊び場/校庭、窓/ドア/門/フェンス	良い	RM 14: 15. ウィンドウスクリーンの穴
総合評価	良い	

B. 生徒の成績

州の優先順位：生徒の成績

SARC（学校説明責任通知書）は、州の優先順位についての情報を以下のように提供します：生徒の成績（優先順位 4）：

- **州全体の評価**（つまり、CAASPP（カリフォルニア生徒能力および進歩状況査定）システム。これには、一般教育人口の学生用の Smarter Balanced Summative Assessments（よりスマートでバランスの取れた総合評価）および 3 年生から 8 年生、および 11 年生に課される[ELA] 英文学/リテラシーおよび数学用の CAA（カリフォルニア オルタナティブ アセスメント）が含まれます。）資格のある学生のみが CAA（カリフォルニア オルタナティブ アセスメント）に登録することができます。CAA（カリフォルニア オルタナティブ アセスメント）項目は、オルタナティブ標準達成度と協調しており、最も重度の認知障害を持つ学生のための CCSS（各州共通基礎スタンダード）にリンクされています。
- **University of California（カリフォルニア大学）および California State University（カリフォルニア州立大学）への入学、キャリア技術教育シーケンス、または学習プログラムの要件を満たすコースを正常に完了した学生の割合。**

全学生の ELA（英文学）と数学の CAASPP（カリフォルニア生徒能力および進歩状況査定）テスト結果

3-8 年生および 11 年生

州の基準を満たす、または超えている学生の割合

件名	学校	学校	地区	地区	州	州
	2018-19	2019-20	2018-19	2019-20	2018-19	2019-20
英文学/リテラシー (3-8 年生および 11 年生)	76	適用外	78	適用外	50	適用外
数学 (3-8 年生および 11 年生)	70	適用外	74	適用外	39	適用外

注意：適用外の値のセルにデータは不要です。

注意：2019-2020 年度のデータは利用できません。新型コロナウイルスの大流行により、大統領令 N-30-20 が発行され、州全体で 2019-2020 学年度のテストの要件が免除されました。

注意：テストを受けた学生数が 10 人以下の場合、統計的精度に対してこのカテゴリの学生数が少なすぎる、または学生のプライバシーを侵害する恐れがあるため、パーセンテージは計算されません。

注意：ELA（英文学）と数学のテスト結果には、Smarter Balanced Summative Assessment（よりスマートでバランスの取れた総合評価）と CAA（カリフォルニア オルタナティブ アセスメント）が含まれます。「達成/超過率」は、Smarter Balanced Summative Assessment（よりスマートでバランスの取れた総合評価）の基準以上の学生の総数に、CAA の基準を満たした（つまり、レベル 3-代替を達成した）学生の総数を加え、それを両方の評価に参加した学生の総数で割って算出します。

学生グループの ELA（英文学）の CAASPP（カリフォルニア生徒能力および進歩状況査定）テスト結果

3-8 年生および 11 年生（2019-2020 学年度）

学生グループ	合計 入学者	数 テスト済み	パーセント テスト済み	パーセント テスト 未完了	パーセント 基準以上
全学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
男子	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
女子	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ブラックまたはアフリカンアメリカン	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
アメリカンインディアンまたはアラスカ先住民	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
アジア系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
フィリピン人	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ヒスパニック系またはラテン系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ハワイ先住民または太平洋諸島系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ホワイト	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
複数人種	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
社会経済的弱者	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
英語学習者	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
障がいのある学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
移民教育サービスを受ける学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
フォスターユース	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ホームレス	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外

注意：適用外の値のセルにデータは不要です。

注意：2019-2020 年度のデータは利用できません。新型コロナウイルスの大流行により、大統領令 N-30-20 が発行され、州全体で 2019-2020 学年度のテストの要件が免除されました。

学生グループの数学の CAASPP（カリフォルニア生徒能力および進歩状況査定）テスト結果

3-8 年生および 11 年生（2019-2020 学年度）

学生グループ	合計 入学者	数 未完了	パーセント 未完了	パーセント テスト 未完了	パーセント 基準以上
全学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
男子	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
女子	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ブラックまたはアフリカンアメリカン	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
アメリカンインディアンまたはアラスカ先住民	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外

学生グループ	合計 入学者	数 未完了	パーセント 未完了	パーセント テスト 未完了	パーセント 基準以上
アジア系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
フィリピン人	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ヒスパニック系またはラテン系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ハワイ先住民または太平洋諸島系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ホワイト	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
複数人種	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
社会経済的弱者	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
英語学習者	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
障がいのある学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
移民教育サービスを受ける学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
フォスターユース	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ホームレス	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外

注意：適用外の値のセルにデータは不要です。

注意：2019-2020年度のデータは利用できません。新型コロナウイルスの大流行により、大統領令 N-30-20 が発行され、州全体で2019-2020学年度のテストの要件が免除されました。

全学生の理科の CAASPP（カリフォルニア生徒能力および進歩状況査定）テスト結果 5年生、8年生、高校生 州の基準を満たす、または超えている学生の割合

件名	学校	学校	地区	地区	州	州
	2018-19	2019-20	2018-19	2019-20	2018-19	2019-20
理科（5年生、8年生、高校生）	67	適用外	64	適用外	30	適用外

注意：適用外の値のセルにデータは不要です。

注意：2019-2020年度のデータは利用できません。新型コロナウイルスの大流行により、大統領令 N-30-20 が発行され、州全体で2019-2020学年度のテストの要件が免除されました。

注意：新しい CAST（カリフォルニア理科テスト）は、2018-2019学年度に最初に運用管理されました。

学生グループの理科の CAASPP（カリフォルニア生徒能力および進歩状況査定）テスト結果 3-8年生および11年生（2019-2020学年度）

学生グループ	合計 入学者	数 未完了	パーセント 未完了	パーセント テスト 未完了	パーセント 基準以上
全学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
男子	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
女子	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ブラックまたはアフリカンアメリカン	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
アメリカンインディアンまたはアラスカ先住民	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外

学生グループ	合計 入学者	数 未完了	パーセント 未完了	パーセント テスト 未完了	パーセント 基準以上
アジア系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
フィリピン人	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ヒスパニック系またはラテン系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ハワイ先住民または太平洋諸島系	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ホワイト	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
複数人種	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
社会経済的弱者	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
英語学習者	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
障がいのある学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
移民教育サービスを受ける学生	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
フォスターユース	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外
ホームレス	適用外	適用外	適用外	適用外	適用外

注意：適用外の値のセルにデータは不要です。

注意：2019-2020年度のデータは利用できません。新型コロナウイルスの大流行により、大統領令 N-30-20 が発行され、州全体で2019-2020学年度のテストの要件が免除されました。

キャリア技術教育プログラム（2019-2020 学年度）

Irvine Unified School District（アーバイン統一学区）の各高校の生徒は、南カリフォルニアで需要が高い業界でのキャリアを追求するためのスキルを提供する、CTE（キャリア技術教育）コースワークに参加する機会があります。2015年から2016年の間に2,500人以上の学生が1つ以上のCTE（キャリア技術教育）コースを受講しました。高等教育や大学教育プログラムにつながるキャリアパスのコース：園芸、デジタル、視覚およびメディア芸術、制作および管理芸術-劇場、音楽技術、およびビデオ制作、ホスピタリティ-調理技術、エンジニアリングデザイン、情報通信技術、起業、および自動車のサービス修理および保守。CTE（キャリア技術教育）コースは、CA CTE（カリフォルニア州キャリア技術教育）モデルカリキュラム基準およびCA Career Readiness Standards（カリフォルニア州キャリア準備基準）に準拠しています。ほとんどのCTE（キャリア技術教育）コースは、University of California（カリフォルニア大学）およびCalifornia State University（カリフォルニア州立大学）への入学のためのコース要件を満たすUC a-g 認定の大学準備コースです。CTE（キャリア技術教育）プログラムは中学校にまで拡大され、7年生と8年生の生徒が工学、ロボット工学、デジタルメディアアート、ビデオ制作の実践的なプロジェクトでキャリア探索に参加することが可能になりました。CTE（キャリア技術教育）プログラムでは、強力なガイダンスカウンセリングも利用できます。

地区とCoastline ROP（コーストライン地域職業プログラム）が提携することで、本校および他校の学生が、放課後や夏期コースで追加のキャリア探索コースを利用できるようになりました。これらには、需要の高い医療業界のキャリアに関するコースやさまざまな業界のコースでのインターンシップが含まれます。本地区では、Irvine Valley College（アーバインバレー大学）と提携してバイオテクノロジーコースを提供する、大学/高校の二重入学制度が検討されています。CTE（キャリア技術教育）プログラムには、地域のコミュニティカレッジと連携して、コミュニティカレッジの関連芸術学位または認定プログラムでキャリア教育を継続するためのコースも用意されています。

この地区は、OC Pathways（オレンジカウンティパスウェイ）、CTEoc（オレンジカウンティキャリア技術教育）、および Irvine Chamber of Commerce（アーバイン商工会議所）の参加メンバーを含む、地域コンソーシアムのメンバーです。各キャリアパスの教師は、ゲストスピーカー、メンター、アドバイザーの役割を担うビジネスや業界の代表者とネットワークを構築します。革新的な Nepris[®]および Virtual Job Shadow[®]アプリを使用した、ビジネス担当者とのバーチャル会議やバーチャルジョブシャドウの機会を通じて、学生は新たな人脈を築くことができます。

Irvine Chamber of Commerce（アーバイン商工会議所）と Orange County Workforce Development Board（オレンジカウンティ労働力開発委員会）からのデータは、本地区における力強い雇用の成長が、ライフサイエンス、IT関連、航空宇宙[エンジニアリング]、精密製造業[エンジニアリングデザイン]、デジタルアートとメディア産業、ホスピタリティ&観光業の産業クラスターにおいて顕著であることを示しています。アーバインの高成長企業には、医療機器メーカー（エンジニアリングおよびバイオテクノロジー）、コンピューター製品企業（情報通信技術）、およびビジネスサービス（起業）などがあります。

2016-2017年の米国労働統計局の職業ハンドブックでは、今後10年間で雇用が増加すると予測される業界として、医療、コンピューター、数学関連職、建築、エンジニアリングを挙げています。Orange County Business Council（オレンジカウンティビジネスカウンシル）の労働力指標レポート2015-2016は、プロフェッショナルおよびビジネスサービス（起業、園芸/ランドスケープデザイン）、医療（ROP（地域職業プログラム）医療キャリアコース）、観光（調理技術やプロダクションマネージャーアーツ）などの、強力な地域産業クラスターが、地区のCTE（キャリア技術教育）プログラムでサポートされており、これが南カリフォルニアの経済成長と発展の原動力となっていることを示しています。いくつかのハイバリュー産業の地域におけるクラスター化が、オレンジカウンティ経済の主な駆動力となっており、高度電子工学（エンジニアリング）、バイオテクノロジー、IT（情報通信技術）、高度製造業、医療と医療機器などのハイスキルの高賃金の職業を創出しています。

CTE（キャリア技術教育）への参加（2019-2020学年度）

措置	CTE（キャリア技術教育）プログラム参加
CTE（キャリア技術教育）に参加する学生数	12
CTE（キャリア技術教育）プログラムを修了し、高校卒業資格を取得する学生の比率	
学校と高等教育機関の間で継続または連携しているCTE（キャリア技術教育）コースの比率	

UC（カリフォルニア大学）および/またはCSU（カリフォルニア州立大学）入学準備コース

UC/CSU（カリフォルニア大学/カリフォルニア州立大学）コース評価	パーセント
UC/CSU（カリフォルニア大学/カリフォルニア州立大学）の入学に必要なコース	69.4
UC/CSU（カリフォルニア大学/カリフォルニア州立大学）の入学に必要な全コース	42.86

州の優先順位：その他の生徒の成績

SARC（学校説明責任通知書）は、州の優先順位についての情報を以下のように提供します：その他の生徒の成績（優先順位 8）：

- ・ 体育分野での生徒の成績。

カリフォルニア州体力テスト結果（2019-2020 学年度）

学年 レベル	6のうち4を満たす生徒の比率 標準体力	6のうち5を満たす生徒の比率 標準体力	6のうち6を満たす生徒の比率 標準体力
5	適用外	適用外	適用外
7	適用外	適用外	適用外
9	適用外	適用外	適用外

注意：適用外の値のセルにデータは不要です。

注意：2019-2020年度のデータは利用できません。新型コロナウイルスの大流行により、大統領令 N-56-20 が発行され、2019-2020 学年度の体力テストの実施要件が免除されました。

C. エンゲージメント

州の優先順位：保護者の関与

SARC（学校説明責任通知書）は、州の優先順位についての情報を以下のように提供します：保護者の関与（優先順位 3）：

- ・ 学区および各学校が決定を行う際に、保護者の意見を求めるために学区が行う取り組み

保護者の関与の機会（2020-2021 学年度）

San Joaquin Schools（サンホアキン高校）の IUSD Virtual Academy（アーバイン統一学区バーチャルアカデミー）には、保護者が関わる数多くの機会があります。保護者と教師の会議、教師の日常勤務時間、保護者教育のバーチャルナイト、そして新学期の保護者懇談会があります。また、保護者はホームページで PTA に参加したり、ホームスクールサイトでその他の活動に参加します。

州の優先順位：生徒の関与

SARC（学校説明責任通知書）は、州の優先順位についての情報を以下のように提供します：生徒の関与（優先度 5）：

- ・ 高校中退率、および
- ・ 高校の卒業率。

中退率と卒業率（4年間のコホート率）

指標	学校 2016-17	学校 2017-18	学校 2018-19	地区 2016-17	地区 2017-18	地区 2018-19	州 2016-17	州 2017-18	州 2018-19
中退率	9.1	9.1	--	2.3	1.6	1.4	9.1	9.6	9
卒業率	81.8	81.8	--	94.7	95.7	95.6	82.7	83	84.5

州の優先順位：学校の状態

SARC（学校説明責任通知書）は、州の優先順位についての情報を以下のように提供します：学校の状態（優先順位 6）：

- 生徒の停学率；
- 生徒の退学率；および
- 安全性の観点でのその他の地域の対策。

停学と退学

（7月から6月の間に収集されたデータ、それぞれ全学年）

比率	学校 2017-18	学校 2018-19	地区 2017-18	地区 2018-19	州 2017-18	州 2018-19
停学	0.0	0.0	1.2	1.0	3.5	3.5
退学	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1

停学と退学（2019-2020 学年度限定）

（7月から2月の間に収集されたデータ、新型コロナウイルスの大流行による学年のうちの一部）

比率	学校 2019-20	地区 2019-20	州 2019-20
停学	0	277	
退学	0	5	

注意：2019-2020 学年度は、新型コロナウイルス危機のために学年度が完全でないため、停学率および退学率のデータは、前年度のデータと比較することはできません。このため、2019-2020 学年度の停学率と退学率を、前年度と比較することは適切ではありません。

学校安全計画（2020-2021 学年度）

20-21 学年度の間、San Joaquin Schools（サンホアキンスクール）IUSD Virtual Academy（アーバイン統一学区バーチャルアカデミー）は、100%オンラインです。

生徒に安全な学校環境を確保するための重点目標は、災害時の捜索や救助技術、CPR/応急処置に関するスタッフの再認証、学校の安全性評価に関連する業務内活動、暴力評価、最新法規の確認、ギャングおよびギャングの特定、および安全な学校環境を確保するためのすべての利害関係者による積極的な関与を含みます。これとは別に、毎年地区の安全検査を行っています。

地区管理者と学校教職員との間の緊密な協力関係、保護者や地域のリーダーの積極的な参加に、この活動の継続的な成功がかかっています。San Joaquin（サンホアキン）の学生とスタッフは、アーバイン警察署の学校資源担当官および調査員と非常に良好な協力関係を築いています。学生は、このような協力関係と San Joaquin（サンホアキン）の安全を守る取り組みに誇りを感じています。

D. その他の SARC（学校説明責任通知書）についての情報

このセクションの情報は、SARC（学校説明責任通知書）内に含める必要がありますが、LCFF（ローカル・コントロール・ファンディング・フォーミュラ）の州の優先順位には含まれません。

平均的なクラスサイズとクラスサイズ分布（小学校）

学年 レベル	2017-18	2017-18	2017-18	2017-18	2018-19	2018-19	2018-19	2018-19	2019-20	2019-20	2019-20	2019-20
	平均ク ラス サイズ	クラス 数* サイズ 1-20	クラス 数* サイズ 21-32	クラス 数* サイズ 33+	平均ク ラス サイズ	クラス 数* サイズ 1-20	クラス 数* サイズ 21-32	クラス 数* サイズ 33+	平均ク ラス サイズ	クラス 数* サイズ 1-20	クラス 数* サイズ 21-32	クラス 数* サイズ 33+
K												

*クラス数は、各サイズカテゴリに分類されるクラスの数を示します（クラスごとの合計生徒数の範囲）。

**「その他」のカテゴリは、複数の学年レベルのクラス用です。

平均的なクラスサイズとクラスサイズ分布（中学校）

件名	2017-18	2017-18	2017-18	2017-18	2018-19	2018-19	2018-19	2018-19	2019-20	2019-20	2019-20	2019-20
	平均ク ラス サイズ	クラス 数* サイズ 1-20	クラス 数* サイズ 21-32	クラス 数* サイズ 33+	平均ク ラス サイズ	クラス 数* サイズ 1-20	クラス 数* サイズ 21-32	クラス 数* サイズ 33+	平均ク ラス サイズ	クラス 数* サイズ 1-20	クラス 数* サイズ 21-32	クラス 数* サイズ 33+
英文学	5	6			4	9			5	9		
数学	7	7			3	9			3	12		
理科	5	5			4	5			5	5		
社会科学	7	7			6	9			9	7	1	

*クラス数は、各サイズカテゴリに分類される教室の数を示します（教室ごとの合計生徒数の範囲）。中学校レベルでは、この情報は学年レベルではなく科目分野で報告されます。

アカデミックカウンセラーに対する生徒の比率（2019-2020 学年度）

職名	比率
アカデミックカウンセラー*	0

*1フルタイム換算（FTE）は、フルタイムで働くスタッフ1人に相当します。それぞれフルタイムの50%で働く2人のスタッフを1FTEとして表すこともできます。

学生支援サービススタッフ（2019-2020 年度）

職名	FTE 数* 学校に配属
カウンセラー（学術、社会/行動またはキャリア開発）	
図書館メディア教師（司書）	0.1
図書館メディアサービススタッフ（専門職助手）	
心理学者	
ソーシャルワーカー	
看護師	
スピーチ/言語/聴覚専門家	
人事スペシャリスト（非教職）	
その他	

*1フルタイム換算（FTE）は、フルタイムで働くスタッフ1人に相当します。それぞれフルタイムの50%で働く2人のスタッフを1FTEとして表すこともできます。

生徒 1 人あたりの支出および学校サイトの教師の給与（2018-2019 会計年度）

レベル	合計 支出 生徒 1 人あたり	支出 生徒 1 人あたり (制限あり)	支出 生徒 1 人あたり (制限なし)	平均 教師 給与
学校サイト	\$82,015	---	\$82,015	\$65,847
地区	適用外	適用外	\$5,857	\$84,323
差異率 - 学校サイトと地区	適用外	適用外	173.3	-24.6
州	適用外	適用外	\$7,750	\$83,052
差異率 - 学校サイトと州	適用外	適用外	165.5	-23.1

注意：適用外の値のセルにデータは不要です。

資金提供されるサービスの種類（2019-2020 会計年度）

Local Control Funding Formula（ローカル・コントロール・ファンディング・フォーミュラ）は、学区に資金を割り当てる以前のカリフォルニアのファンディング方法に代わって採用されました。新しいモデルでは、40 を超える特定の資金カテゴリの代わりに州の資金源を 3 つに統合し、地方の裁量を増加させて学生にとって最善となる資金の使い道を決定できるようにしました。全地区は、学年レベルに応じてわずかに異なる学生ごとの BASE（基本）資金を受け取ります。また、全地区は SUPPLEMENTAL（補足）資金を受け取ります。IUSD（アーバイン統一学区）では、以下のプログラムをサポートするために BASE（基本）資金および SUPPLEMENTAL（補足）資金を使用しました：

サイトのプログラムとサービス： 1) 導入プログラム、コンテンツ TOSA、教師メンタープログラムを通じて、専門的な学習と教師の指導をサポート、2) サマースクールと夏のアスレチックプログラムを提供、3) PLC（専門学習コミュニティ）とサイトの PLC コーチのサポートを通じて、学生の目標達成をサポートするためのサイトへの資金提供とスタッフの割り当て、4) 初等体育の準専門家、5) 英語学習者のサポート、6) 初等科学、音楽、芸術プログラム、7) 教科書と教材の購入、8) テクノロジーマッチングプログラム、テクノロジーメンテナンスファンドおよびサイトテクノロジーサポートスタッフなど、テクノロジー関連の学習環境の開発、9) 以前実施されたクラスサイズ縮小を維持、10) クラスサイズを縮小するための追加のセカンダリセッション、11) 中学校のゼロピリオドプログラム、12) 積極的な行動介入およびサポートプログラムの維持、13) フルタイムの校長補佐によるサイトスタッフの維持、14) 450 : 1 のカウンセリング比率、大規模な小学校と小学校の教室補佐官のサポート、15) 英語学習者、低所得、フォスターユースに影響を与える介入および補足プログラムのサポート、16) キャリア技術教育のパスウェイ構築を継続し、学生のためのブレンド型オンライン学習の機会を提供、17) メンタルヘルスおよびウェルネスプログラムを開発し、Irvine Family Resource Center（アーバインファミリーリソースセンター）のサポートを含む、地区およびサイトベースのスタッフを雇用します。

最後に、BASE（基本）の 50%に相当する CONCENTRATION（集中）補助金は、英語学習者、低所得層の学生、およびフォスターユースが総入学者数の 55%を超える地区に提供されます。Irvine Unified School District（アーバイン統一学区）は、その登録が 55%のしきい値を超えていないため、集中資金供給の対象にはなりません。

教師と事務職員の給与（2018-2019 会計年度）

カテゴリ	地区 額	州平均 地区用 同カテゴリ
教師の初任給	\$49,234	\$50,029

カテゴリ	地区額	州平均 地区用 同カテゴリ
中堅教師の給与	\$87,931	\$77,680
教師の最高給与	\$113,662	\$102,143
学校長の平均給与（小学校）	\$138,075	\$128,526
学校長の平均給与（中学校）	\$150,886	\$133,574
学校長の平均給与（高校）	\$171,949	\$147,006
教育長の給与	\$330,377	\$284,736
教師の給与が予算に占める割合	33.0	33.0
事務職員の給与が予算に占める割合	5.0	5.0

給与の詳細情報については、<https://www.cde.ca.gov/ds/fd/cs/> の CDE（カリフォルニア州教育庁）の認定給与および福利厚生 Web ページを参照してください

AP（アドバンストプレイスメント）コース（2019-2020 学年度）

件名	提供された AP（アドバンストプレイスメン ト）コースの数*	AP（アドバンストプレイスメン ト）コース での生徒の割合
コンピュータサイエンス		適用外
英語		適用外
美術および舞台芸術	1	適用外
外国語	2	適用外
数学		適用外
理科		適用外
社会科学		適用外
全コース	3	3.3

*コースに少なくとも学生 1 人の登録がある場合。

職業開発（直近 3 年）

措置	2018-19	2019-20	2020-21
スタッフ育成と継続的改善に費やされる学期中の日数	15	15	10

質の高い授業と同様に、質の高いスタッフの育成は、学習に基づくアクティビティ主導型で行われ、教育の改善を重視した、専門家の能力再開発のための継続的なプロセスです。San Joaquin（サンホアキン）IUSD Virtual Academy（アーバイン統一学区バーチャルアカデミー）の継続的な改善努力によって、専門スタッフは教育と学習についての仮説を再検討することが可能になります。スタッフ育成活動では、適切な大学と専門家の支援ネットワークを使用して、教育の改善に対するパーソナライズされた対応を開発するために、かなりの時間が費やされます。質の高いスタッフ育成を受けた専門スタッフは、学習をダイナミックで、知的な刺激に変え、教室の壁を越えた思考へと導きます。効果的なスタッフの育成により、教師個人の強化や教師間の絆を深める専門スタッフによる学習コミュニティが形成されます。質の高い教育を維持し、改善するためには、カスタマイズされたスタッフ育成活動が不可欠です。

今年の地区全体の一般スタッフ育成活動は、バーチャル環境での授業にフォーカスされています。

今年の San Joaquin Schools (サンホアキンスクール) IUSD Virtual Academy (アーバイン統一学区バーチャルアカデミー) のスタッフ育成では、学校のニーズに合わせた活動に重点が置かれました。スタッフ育成活動の一部：

- CANVAS を使用した授業
- バーチャル環境での授業
- バーチャル環境での生徒関与のための戦略
- Nearpod、Pear Deck、Seesaw、ST Math、Lexia、Raz Kids、iReady、Flipgrid、Screencastify、Zoom
- バーチャル教育のための教室管理戦略
- 社会的感情的学習
- 主要リテラシー

州の新しいガイドラインに従って、対象となるスタッフの育成活動に年間合計 3 日間で割り当てられ、さらに 6 時間の専門的学習が 1 時間ずつ 6 日間にわたって提供されました。